UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

252742

ヘッジファンドセレクション（ラップ向け）

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

作成対象期間：2021年２月６日～2022年２月７日
第　５　期 決算日：2022年２月７日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、日本を含む世界の株式、債券およびデリバティブ等の幅広い資産を実質的な主要投資対象とし、特定の市場に左右されることなく収益の獲得をめざした運用を行っております。実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図る場合があります。ここに運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第５期末（2022年２月７日）	
基準価額	10,086円
純資産総額	16,224百万円
騰落率	－1.3％
分配金合計(*)	0円

（*）当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法 https://www.am.mufg.jp/ ［ファンド検索］にファンド名を入力 各ファンドの詳細ページで閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番１号
ホームページ　https://www.am.mufg.jp/

■当運用報告書に関するお問い合わせ先
お客さま専用フリーダイヤル 0120-151034
（受付時間：営業日の９：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～１月３日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第５期：2021年２月６日～2022年２月７日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移

第５期首	10,223円
第５期末	10,086円
既払分配金	0円
騰落率	－1.3%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.3％の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

下落要因

組入を行った投資信託証券のうち、主に「先進国ロング・ショート戦略マザーファンド」などがマイナスに影響しました。

2021年２月６日～2022年２月７日

１万口当たりの費用明細

項目	当期 金額（円）	当期 比率（%）	項目の概要
(a)信託報酬	76	0.740	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
（投信会社）	(68)	(0.663)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(5)	(0.044)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	1	0.013	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（株式）	(0)	(0.000)	
(先物・オプション)	(1)	(0.013)	
(c)その他費用	40	0.385	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(39)	(0.382)	信託事務の処理等に要するその他諸費用（株式信用取引に要する品借料、配当調整金の支払い等）
合計	117	1.138	

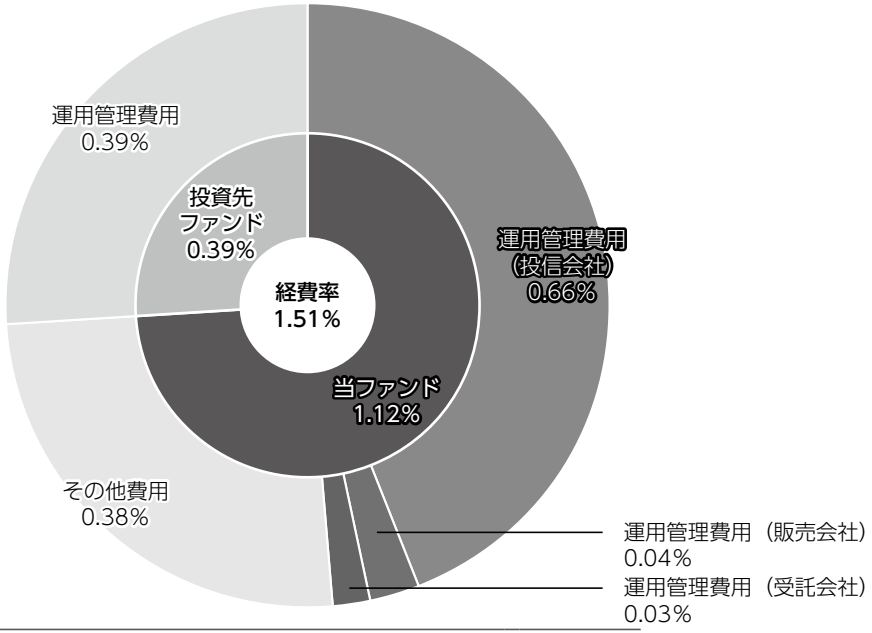
期中の平均基準価額は、10,273円です。

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
（注）当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**経費率（年率）は1.51％**です。



経費率（①＋②）	（％）	1.51
①当ファンドの費用の比率	（％）	1.12
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	（％）	0.39

（注）①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。
（注）投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、前記には含まれておりません。

2017年２月７日～2022年２月７日

最近５年間の基準価額等の推移について

最近５年間の年間騰落率

		－	2018/２/５ 期初	2019/２/５ 決算日	2020/２/５ 決算日	2021/２/５ 決算日	2022/２/７ 決算日
基準価額	(円)	－	10,222	9,964	9,911	10,223	10,086
期間分配金合計（税込み）	(円)	－	－	0	0	0	0
基準価額騰落率	(%)	－	－	－2.5	－0.5	3.1	－1.3
純資産総額	(百万円)	－	4,760	7,343	7,048	10,889	16,224

※騰落率および期間分配金合計については、年間の値を表示しており、期間が１年に達していない場合には表示していません。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第５期：2021年２月６日～2022年２月７日

投資環境について

▶ 株式市況

日本を含む先進国の株式市況は、米国の追加経済対策や新型コロナウイルスのワクチン普及などによる経済正常化期待などを背景に期首から2021年12月にかけて上昇しました。期末にかけては主要中央銀行の金融緩和修正の動きなどから下落する局面もありましたが、期を通じては限定的なものに留まりました。新興国の株式市況は中国の株式市況が軟調に推移したことなどを背景に下落しました。

▶ 債券市況

日本を含む先進国の債券利回りは、米国の追加経済対策や新型コロナウイルスのワクチン普及などによる経済正常化期待や、期の後半から主要中央銀行による金融緩和修正の動きが意識されたことなどを背景に上昇しました。新興国の債券利回りも上昇しました。

▶ オルタナティブ

日本を含む先進国の不動産投資信託（ＲＥＩＴ）市況は、先進国株式と同様の理由などから上昇しました。金価格は、米ドルや米国金利の水準などに左右される展開となりましたが、期を通じては小動きとなりました。原油価格は、経済正常化などによる需要回復期待や、ウクライナや中東などにおける地政学リスクの高まりなどから上昇しました。

▶ 為替

為替市場では、米ドルは日米金利差の拡大などを受け、対円で上昇しました。ユーロも対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界の株式、債券およびデリバティブ等の幅広い資産に実質的な投資を行います。
投資対象とする投資信託証券およびその投資比率は、三菱ＵＦＪ信託銀行の投資助言に基づき決定します。
このような方針を踏まえ、2021年５月に以下のとおり、ファンドの組入比率の変更を行いました。
収益性の向上を狙い、「日本株マーケットニュートラル・マザーファンド」の配分比率を引き下げ、「ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンド―クラスＢ・円・アキュムレーション」および「先進国ロング・ショート戦略マザーファンド」の配分比率を引き上げました。

（ご参考）

■投資信託証券別組入比率表

（%）

投資信託証券	期首	期末
先進国ロング・ショート戦略マザーファンド	19.2	29.6
ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンド―クラスB・円・アキュムレーション	19.2	29.2
ＭＵＩジャジメンタルＬ／Ｓ「バランス型」ファンド１（適格機関投資家向け）（※）	24.3	24.7
日本株マーケットニュートラル・マザーファンド	33.7	14.6

（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。
（※）ＭＵＩジャジメンタルＬ／Ｓ「バリュー」マザーファンド、ＭＵＩベータ戦略型シングル・アルファマザーファンド、ＭＵＩジャジメンタルＬ／Ｓ「インフラ資源」マザーファンド、ＭＵＩジャジメンタルＬ／Ｓ「金融」マザーファンド、ＭＵＩジャジメンタルＬ／Ｓ「テック」マザーファンド、ＭＵＩクオンツ・ベータヘッジ高配当利回り型マザーファンドの各マザーファンドへの投資を行います。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　目	第５期 2021年２月６日～2022年２月７日
当期分配金（対基準価額比率）	ー（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	266

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

日本を含む世界の株式、債券およびデリバティブ等の幅広い資産を実質的な主要投資対象とし、特定の市場に左右されることなく収益の獲得をめざします。
投資対象とする投資信託証券およびその投資比率は、三菱ＵＦＪ信託銀行の投資助言に基づき決定します。

お知らせ

▶約款変更

・該当事項はありません。

▶その他

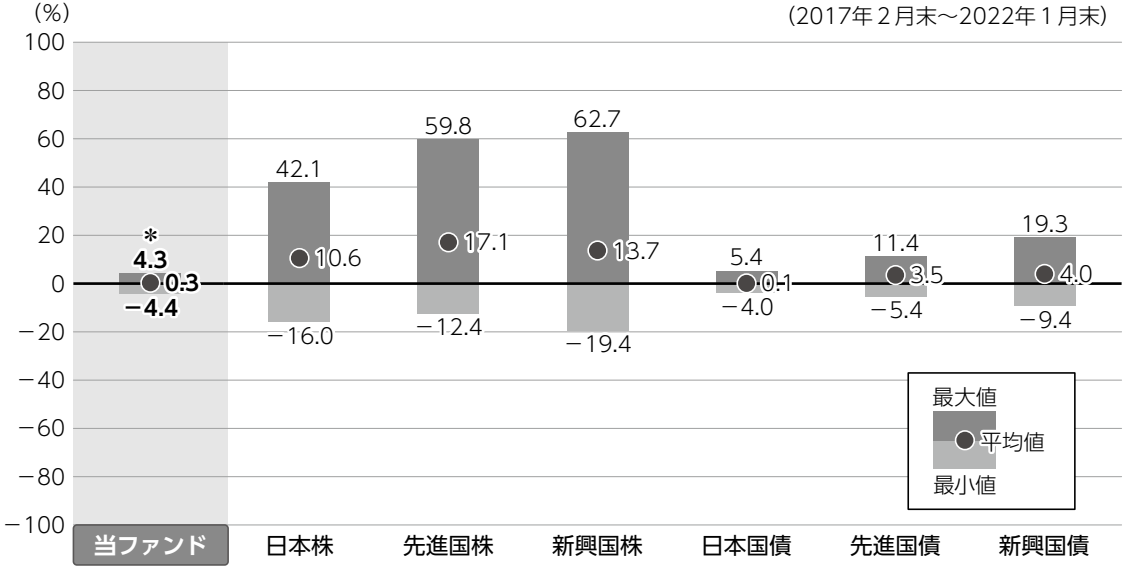
・該当事項はありません。

＊本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から２ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（https://www.am.mufg.jp/）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）
信託期間	2027年２月５日まで（2017年３月27日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界の株式、債券およびデリバティブ等の幅広い資産に実質的な投資を行います。 投資対象とする投資信託証券については、定性・定量評価等により適宜見直しを行います。また、各投資信託証券の組入比率は適宜見直しを行います。 投資信託証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行う場合があります。 投資対象とする投資信託証券およびその投資比率は、三菱ＵＦＪ信託銀行の投資助言に基づき決定します。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	日本を含む世界の株式、債券およびデリバティブ等の幅広い資産を実質的な主要投資対象とし、特定の市場に左右されることなく収益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2017年２月から2022年１月の５年間における１年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。
＊ファンドについては2018年３月～2022年１月の同様の騰落率を表示したものです。

各資産クラスの指数

日　本　株	東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）
先進国株	ＭＳＣＩ コクサイ・インデックス（配当込み）
新興国株	ＭＳＣＩ エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
日本国債	ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ（国債）
先進国債	ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）
新興国債	ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。
（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。
●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2022年２月７日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

（組入銘柄数：４銘柄）

ファンド名	第５期末 2022年２月７日
先進国ロング・ショート戦略マザーファンド	29.6%
ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンドークラスＢ・円・アキュムレーション	29.2%
ＭＵＩジャジメンタルＬ／Ｓ「バランス型」ファンド１（適格機関投資家向け）	24.7%
日本株マーケットニュートラル・マザーファンド	14.6%

※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。
※上記のうち、上位３ファンドについては、「組入上位ファンドの概要」を後掲しています。

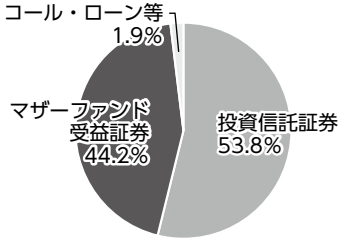
純資産等

項　目		第５期末 2022年２月７日
純資産総額	(円)	16,224,729,591
受益権口数	(口)	16,087,133,879
１万口当たり基準価額	(円)	10,086

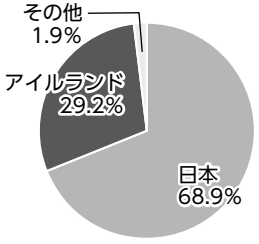
※当期中において追加設定元本は8,006,989,429円
同解約元本は　2,571,534,215円です。

種別構成等

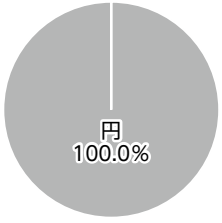
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が５％未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。
※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

291899

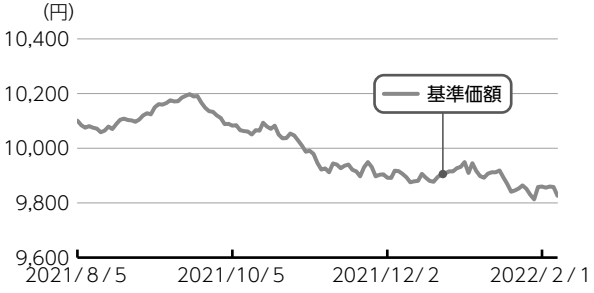
2022年２月７日現在

組入上位ファンドの概要

▶先進国ロング・ショート戦略マザーファンド

基準価額の推移

2021年８月５日～2022年２月７日



１万口当たりの費用明細

2021年８月６日～2022年２月７日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料	2	0.022
(先物・オプション)	(2)	(0.022)
(b)その他費用	0	0.000
(その他)	(0)	(0.000)
合計	2	0.022

期中の平均基準価額は、9,996円です。

※項目の概要については、前記「１万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄（ロングポジション）

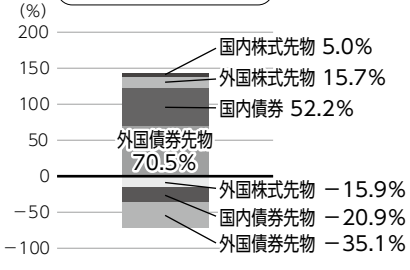
（組入銘柄数：１銘柄）

	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	第４３２回利付国債（２年）	債券	日本	国債	52.2
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

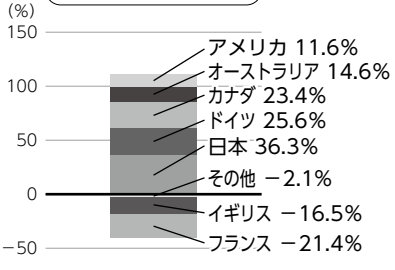
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

種別構成等

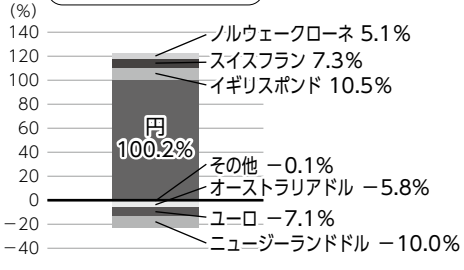
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が５％未満の項目は「その他」に分類しています。
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。
※国・地域別配分と通貨別配分は、ロングポジションとショートポジションを相殺したネットポジションにて表示しています。

2020年９月30日現在

組入上位ファンドの概要

▶ ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンドークラスB・円・アキュムレーション

基準価額の推移

2019年９月30日～2020年９月30日

基準価額以外の開示情報につきましては、クラス分けされたものがないため、「ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンド」ベースで表示しています。

１万口当たりの費用明細

2019年10月１日～2020年９月30日

１万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示できません。

▶ ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンド

組入上位10銘柄

（組入銘柄数：206銘柄）

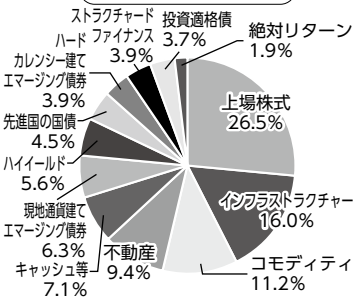
	銘柄	種別	比率(%)
1	Baillie Gifford European Fund - Class C Acc	上場株式	6.6
2	Baillie Gifford Emerging Markets Leading Companies - Class C Acc	上場株式	5.3
3	Baillie Gifford American Fund - Class C Acc	上場株式	3.7
4	Baillie Gifford Worldwide Japanese Fund - Class C Acc GBP	上場株式	3.1
5	Invesco Physical Gold ETC	コモディティ	3.1
6	iShares Physical Gold ETC	コモディティ	3.0
7	Japan Treasury Discount Bill 0.00% 25/03/2021	キャッシュ等	3.0
8	Baillie Gifford Worldwide Global Credit Fund - Class C Acc USD	投資適格債	2.9
9	Baillie Gifford Emerging Markets Bond Fund - Class C Gross Acc	現地通貨建てエマージング債券	2.8
10	Baillie Gifford UK Equity Alpha Fund - Class C Acc	上場株式	2.6

※比率はベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンドの純資産総額に対する割合です。グロスポジション（証券およびデリバティブ）

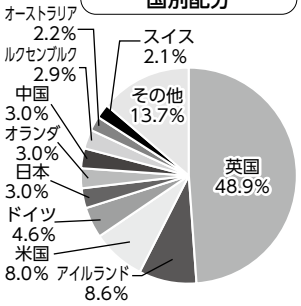
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

種別構成等

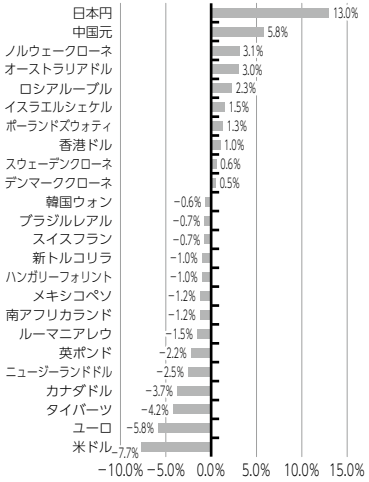
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※資産別配分（エクスポージャー）は、株式指数先物及び国債先物のショートポジション、ボラティリティ指数（ＶＩＸ）先物のロングポジションを保有しています。
※国別配分（エクスポージャー）は、上位10ヵ国を表示。その他等には未分類を含みます。
※通貨別配分（ネット通貨エクスポージャー）は、＋／−0.5%を超える相対通貨ポジションを表示しています。
※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンドの資料を基に、三菱ＵＦＪ国際投信が作成したものであり、運用報告書（全体版）とは異なる場合があります。

2021年８月25日現在

組入上位ファンドの概要

▶ＭＵＩジャジメンタルＬ／Ｓ「バランス型」ファンド１（適格機関投資家向け）

基準価額の推移

2020年８月25日～2021年８月25日

組入ファンド

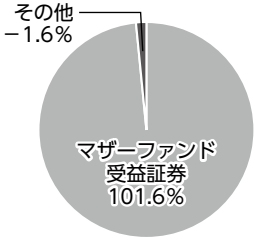
（組入銘柄数：６銘柄）

ファンド名	比率
MUIジャジメンタルL／S「インフラ資源」マザーファンド	16.9%
MUIジャジメンタルL／S「金融」マザーファンド	16.7%
MUIジャジメンタルL／S「バリュー」マザーファンド	18.1%
MUIジャジメンタルL／S「テック」マザーファンド	16.9%
ＭＵＩクオンツ・ベータヘッジ高配当利回り型マザーファンド	16.8%
MUIベータ戦略型シングル・アルファマザーファンド	16.3%

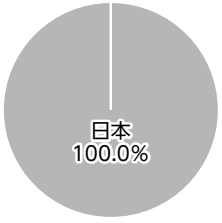
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

種別構成等

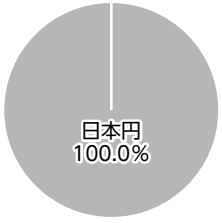
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※比率は、純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
※国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
※組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。
※その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

１万口当たりの費用明細

項目	当期 2020年8月26日～2021年8月25日 金額（円）	比率（%）	項目の概要
(a)信　託　報　酬	94	0.902	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(88)	(0.847)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(0)	(0.001)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(6)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)売買委託手数料	25	0.237	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(22)	(0.216)	
(先物・オプション)	(2)	(0.020)	
(c)そ の 他 費 用	107	1.033	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(2)	(0.019)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（信用取引）	(105)	(1.011)	信用取引で借りた株の配当金の未払金相当額および品貸料等
（そ の 他）	(0)	(0.002)	受益権の管理事務に関連する費用等
合　計	226	2.172	

期中の平均基準価額は、10,399円です。

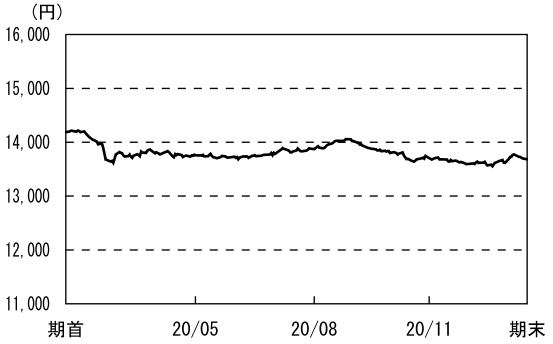
（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。
（注）売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入しております。

組入上位ファンドの概要

ＭＵＩジャジメンタルＬ／Ｓ「インフラ資源」マザーファンド

（2021年2月15日現在）

基準価額の推移



組入上位10銘柄

（組入銘柄数：105銘柄）

	銘柄	セクター	比率
1	日立製作所	電気機器	2.2%
2	三井物産	卸売業	2.1%
3	ファナック	電気機器	1.8%
4	三菱商事	卸売業	1.8%
5	豊田通商	卸売業	1.7%
6	大阪瓦斯	電気・ガス業	1.6%
7	三菱電機	電気機器	1.6%
8	アマダ	機械	1.5%
9	関西電力	電気・ガス業	1.4%
10	ＥＮＥＯＳホールディングス	石油・石炭製品	1.3%

・比率は評価額（未収配当金を含む）の純資産総額に対する割合です。

1万口当たりの費用明細

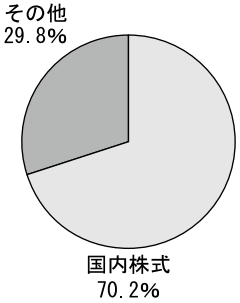
（2020年2月18日～2021年2月15日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料	67円	0.482%	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	(67)	(0.482)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) その他費用	199	1.445	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（信用取引）	(199)	(1.445)	信用取引で借りた株の配当金の未払金相当額および品貸料等
合計	266	1.927	
期中の平均基準価額は、13,802円です。			

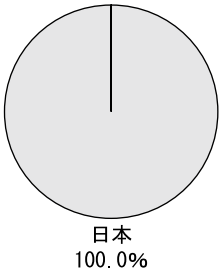
（注）1万口当たりの費用明細は、組入ファンドの直近の決算期のものです。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

種別構成等

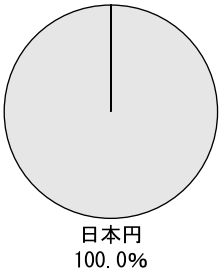
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



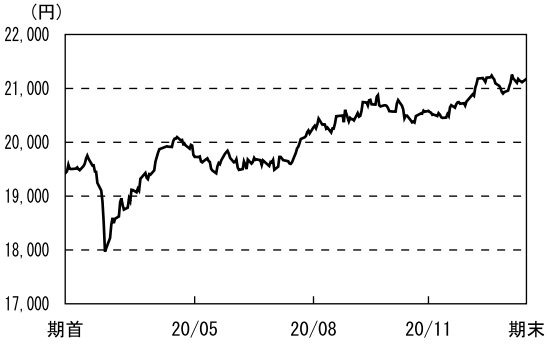
※比率は評価額（未収配当金を含む）の純資産総額に対する割合です。
※国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
※組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。
※その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

組入上位ファンドの概要

ＭＵＩジャジメンタルＬ／Ｓ「金融」マザーファンド

（2021年2月15日現在）

基準価額の推移



組入上位10銘柄

（組入銘柄数：32銘柄）

	銘柄	セクター	比率
1	アルヒ	その他金融業	5.1%
2	南都銀行	銀行業	4.6%
3	ＮＥＣキャピタルソリューション	その他金融業	3.7%
4	愛知銀行	銀行業	3.4%
5	オリックス	その他金融業	3.1%
6	大分銀行	銀行業	3.0%
7	モーニングスター	サービス業	3.0%
8	ＳＢＩホールディングス	証券、商品先物取引業	3.0%
9	プレミアグループ	その他金融業	2.9%
10	百五銀行	銀行業	2.9%

・比率は評価額（未収配当金を含む）の純資産総額に対する割合です。

1万口当たりの費用明細

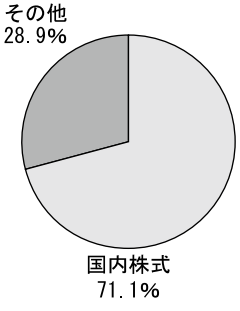
（2020年2月18日～2021年2月15日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料	51円	0.256%	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	(51)	(0.256)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) その他費用	487	2.428	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（信用取引）	(487)	(2.428)	信用取引で借りた株の配当金の未払金相当額および品貸料等
合計	538	2.684	
期中の平均基準価額は、20,048円です。			

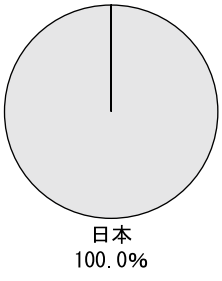
（注）1万口当たりの費用明細は、組入ファンドの直近の決算期のものです。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

種別構成等

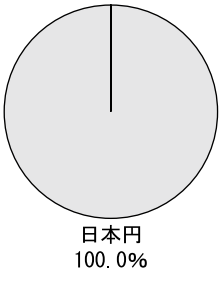
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



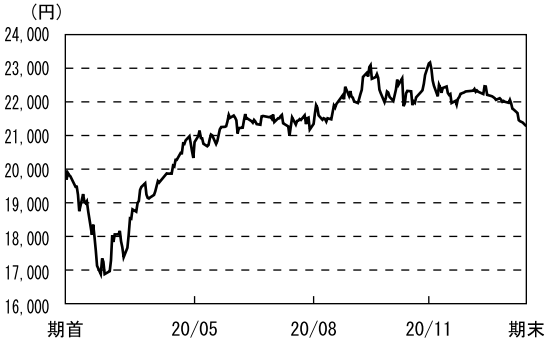
※比率は評価額（未収配当金を含む）の純資産総額に対する割合です。
※国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
※組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。
※その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

組入上位ファンドの概要

ＭＵＩジャジメンタルＬ／Ｓ「バリュー」マザーファンド

（2021年2月15日現在）

基準価額の推移



組入上位10銘柄

（組入銘柄数：103銘柄）

	銘柄	セクター	比率
1	川崎重工業	輸送用機器	4.3%
2	日本エム・ディ・エム	精密機器	2.7%
3	ジンズホールディングス	小売業	2.5%
4	インターアクション	精密機器	2.3%
5	宇部興産	化学	2.1%
6	エイチ・アイ・エス	サービス業	2.0%
7	信越化学工業	化学	1.7%
8	ヘリオス	医薬品	1.6%
9	ＴＯＫＹＯ　ＢＡＳＥ	小売業	1.4%
10	メニコン	精密機器	1.3%

・比率は評価額（未収配当金を含む）の純資産総額に対する割合です。

1万口当たりの費用明細

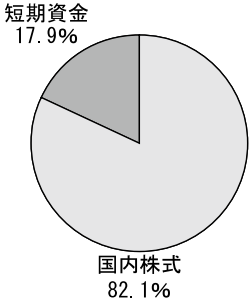
（2020年2月18日～2021年2月15日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料	65円	0.309%	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	(61)	(0.289)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(4)	(0.020)	
(b) その他費用	214	1.014	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（信用取引）	(214)	(1.014)	信用取引で借りた株の配当金の未払金相当額および品貸料等
合計	279	1.323	
期中の平均基準価額は、21,115円です。			

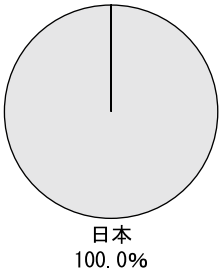
（注）1万口当たりの費用明細は、組入ファンドの直近の決算期のものです。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

種別構成等

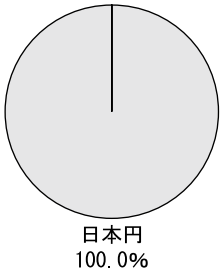
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



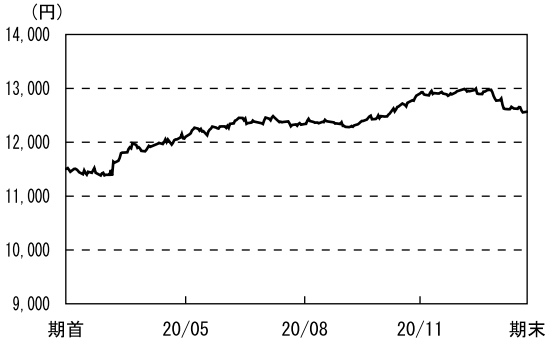
※比率は評価額（未収配当金を含む）の純資産総額に対する割合です。
※国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
※組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。
※その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

組入上位ファンドの概要

ＭＵＩジャジメンタルＬ／Ｓ「テック」マザーファンド

（2021年2月22日現在）

基準価額の推移



組入上位10銘柄

（組入銘柄数：63銘柄）

	銘柄	セクター	比率
1	日本電産	電気機器	1.7%
2	キーエンス	電気機器	1.4%
3	日立建機	機械	1.4%
4	日本製鋼所	機械	1.3%
5	ミネベアミツミ	電気機器	1.3%
6	クボタ	機械	1.3%
7	ＨＯＹＡ	精密機器	1.3%
8	日立製作所	電気機器	1.2%
9	東京エレクトロン	電気機器	1.2%
10	京セラ	電気機器	1.2%

・比率は評価額（未収配当金を含む）の純資産総額に対する割合です。

1万口当たりの費用明細

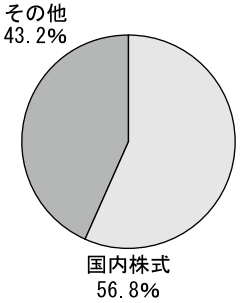
（2020年2月26日～2021年2月22日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料	12円	0.101%	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	(12)	(0.101)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) その他費用	151	1.231	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（信用取引）	(151)	(1.231)	信用取引で借りた株の配当金の未払金相当額および品貸料等
合計	163	1.332	
期中の平均基準価額は、12,288円です。			

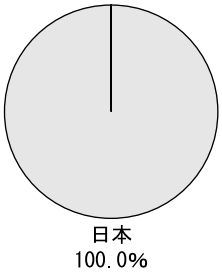
（注）1万口当たりの費用明細は、組入ファンドの直近の決算期のものです。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

種別構成等

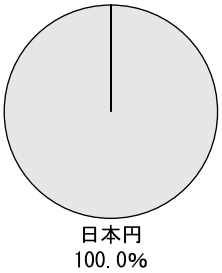
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



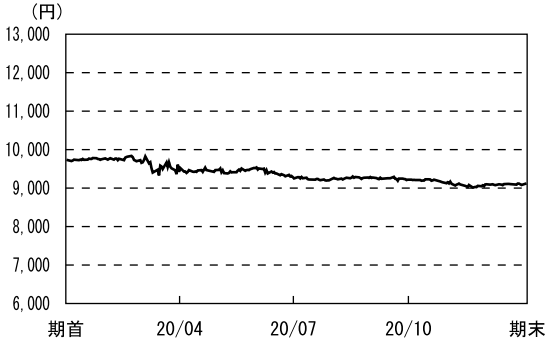
※比率は評価額（未収配当金を含む）の純資産総額に対する割合です。
※国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
※組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。
※その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

組入上位ファンドの概要

ＭＵＩクオンツ・ベータヘッジ高配当利回り型マザーファンド

（2021年1月12日現在）

基準価額の推移



組入上位10銘柄

（組入銘柄数：158銘柄）

	銘柄	セクター	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.0%
2	ソフトバンクグループ	情報・通信業	2.1%
3	任天堂	その他製品	1.5%
4	キーエンス	電気機器	1.4%
5	日本電信電話	情報・通信業	1.3%
6	日本電産	電気機器	1.3%
7	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	銀行業	1.2%
8	武田薬品工業	医薬品	1.2%
9	村田製作所	電気機器	1.1%
10	ＨＯＹＡ	精密機器	1.1%

・比率は評価額（未収配当金を含む）の純資産総額に対する割合です。

1万口当たりの費用明細

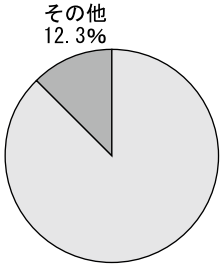
（2020年1月11日～2021年1月12日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料	4円	0.042%	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	(0)	(0.001)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(4)	(0.041)	
合計	4	0.042	
期中の平均基準価額は、9,383円です。			

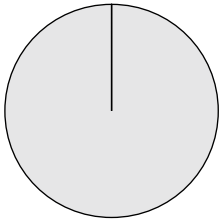
（注）1万口当たりの費用明細は、組入ファンドの直近の決算期のものです。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

種別構成等

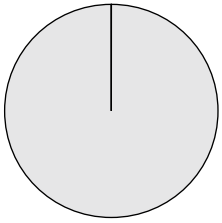
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



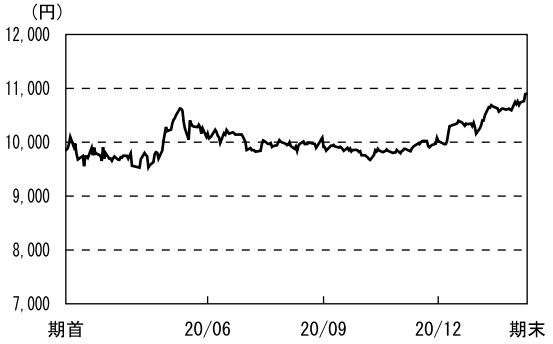
※比率は評価額（未収配当金を含む）の純資産総額に対する割合です。
※国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
※組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。
※その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

組入上位ファンドの概要

ＭＵＩベータ戦略型シングル・アルファマザーファンド

（2021年3月10日現在）

基準価額の推移



組入上位10銘柄

（組入銘柄数：112銘柄）

	銘柄	セクター	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.6%
2	ソニー	電気機器	2.0%
3	ファナック	電気機器	1.9%
4	ＫＤＤＩ	情報・通信業	1.9%
5	野村ホールディングス	証券、商品先物取引業	1.6%
6	第一生命ホールディングス	保険業	1.6%
7	武田薬品工業	医薬品	1.6%
8	大日本印刷	その他製品	1.5%
9	キヤノン	電気機器	1.5%
10	ＭＳ＆ＡＤインシュアランスグループホールディングス	保険業	1.4%

・比率は評価額（未収配当金を含む）の純資産総額に対する割合です。

1万口当たりの費用明細

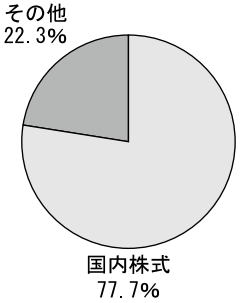
（2020年3月11日～2021年3月10日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料	11円	0.113%	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	(4)	(0.042)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(7)	(0.071)	
合計	11	0.113	
期中の平均基準価額は、9,998円です。			

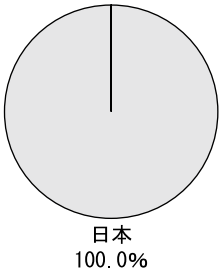
（注）1万口当たりの費用明細は、組入ファンドの直近の決算期のものです。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

種別構成等

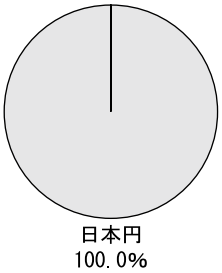
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



※比率は評価額（未収配当金を含む）の純資産総額に対する割合です。
※国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
※組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。
※その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

指数に関して

▶「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）

東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。ＴＯＰＩＸの指数値及びＴＯＰＩＸに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などＴＯＰＩＸに関するすべての権利・ノウハウ及びＴＯＰＩＸに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

●ＭＳＣＩ コクサイ・インデックス（配当込み）

ＭＳＣＩ コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、ＭＳＣＩ コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●ＭＳＣＩ エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

ＭＳＣＩ エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、ＭＳＣＩ エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ（国債）

ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）

ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ダイバーシファイド

ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ダイバーシファイドとは、Ｊ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はＪ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

MUFG

三菱UFJ国際投信